

資料 1

平成 29 年 9 月 5 日
図書館運営委員会資料
教育部 図書館

第 7 期 第 8 回武蔵野市図書館運営委員会 議事要録

日時 平成 29 年 7 月 3 日 17 時 30 分開会 18 時 45 分閉会

場所 中央図書館 3 階視聴覚ホール

出席者 委員 7 名

傍聴 1 名

内容 1 議題

- (1) 前回議事録の確認について
- (2) 平成 28 年度図書館事業評価について
- (3) 平成 29 年度図書館事業目標について

2 報告事項

- (1) 吉祥寺図書館改修事業の進捗状況について
- (2) 図書館基本計画一部改定について

3 その他

<館長>

今年も毎年恒例の図書館こどもまつりが行われる。7/22~31 に子どもたちに夏休みに図書館に来てもらい、少しでも図書館を身近に感じてもらえればと毎年行っている事業である。内容としては科学教室・点字教室・おはなし会スペシャル・映画会等を行う予定である。その中でも整理券が必要な事業については先週の日曜日から整理券配布を開始したのだが、多くの事業がもうすでに整理券がなくなっている状況である。

また、昨年度よりリニューアルした武蔵野市子ども図書館文芸賞の募集も 7/5 から開始される。こちらに関しても、創作部門と読書感想文部門があり、子どもたちが創作等を通じてより図書館に親しみを感じてもらえればと思っている。

暑くなってきたが、図書館も読書の楽しさを伝える事業を続けて行っていきたいと考えている。

<事務局>

次第に従って、議事に入っていきたいと思う。これより先は委員長にお願いする。

<委員長>

では、議題 1 の前回議事録の確認について行う。事務局説明をお願いする。

<事務局>

議題1の前回議事録について説明する。資料1をご覧いただきたい。前回5月29日にプレイスで開催した委員会の内容を要録としてまとめたのが今回の資料となる。今回の運営委員会で確認してもらい、承認していただければ委員会終了後に図書館HPで公開したいと考える。

<委員長>

それでは本件について何か意見等ある方。

(特になし)

<委員長>

特にないようなのでこの内容で公開することとする。

それでは引き続き議題の2へ移る。「平成28年度図書館事業評価」について事務局説明を。

<事務局>

それでは議題2について説明する。資料2を確認していただきたい。こちらは前回の委員会で議論したことをまとめたものである。平成28年度図書館事業評価について前回の議論を踏まえ、修正を行ったものとなる。以下、修正点を中心に説明する。修正した箇所はゴシックで示してある。

1-1 調査結果について、件数の記載を行った。貸し出し希望が1件、条件付きの貸し出し希望が7件あった。また、記載の順番が逆だったものを訂正した。

2-2 こちらは報告者が書いてなかったため、「図書館長に報告した」と記載した。

-3 「点検しましたが、見直しにいたるほどの大きな変化はなく、見直しは行いませんでした。という形で」全体の文章を整えた。

(訂正)「見直しは行いませんでした」を「変更は行いませんでした」へ修正をお願いします。

3-1 プレイスの来館者が施設のキャパシティーを超え、限界をむかえているという表現が適切できないという判断から、消去した。

-2 サインの掲示について。目標に対して受けがなかったため、「館内に貸し出し・返却・質問などのピクトグラムのサインを設置しました」という受けをもってきた。

-3 適切な表現に変更した。ICタグの新增設という表現に変更を行った。

-4 適切な表現に変更した。「実施計画に盛り込みました」という表現に改めた。

5-2 これについても同様に「実施計画に盛り込みました」という表現に変更を行った。

7-1 計画に基づいた回数実施、情報共有という内容を冒頭に、年間計画に基づき、「情報を共有し」に言葉を変更。また、「都立図書館等外部から業務等に関わる研修情報が入った際には情報を共有し、希望する職員を外部研修に派遣した」という言葉に変更した。

-2 項目を追加した。吉祥寺図書館リニューアルに向けての視察、障害者差別解消法などに関わる研修に職員を参加させたという文章を追加した。28年度、大きな出来事であったということでこのような項目の追加を行った。

9-1 再掲だが、文を整えた。「見直しにいたるほどの大きな変化はなく、変更は行いませんでした」とした。

-2 取組の効果について記載した。電子書籍の導入について情報収集を行い、まとめ、課内で情報を共有した。また、関連する講演会に参加し、これに対しての効果として資料を課内で供覧し、報告書にまとめた。

11-1 計画に基づいた回数の実施及び、取組の効果について記載した。計画に従い、課題解決テーマ展示などを年間10回実施したということと、この取組は職員の研修的側面も含まれているため、年間計画を策定し、全ての職員が関われるようにし、計画通りに進めることができた。また、展示のみならず職員の能力育成、研修的側面もあるということで加筆した。

-2 吉祥寺改修→吉祥寺図書館改修へ適切な表現に訂正した。

12-1 これまで学校に提供してきたデータをまとめ、今後の学校連携に活用するため、類似するテーマごとにまとめたリストを作成した。

-2 アンケートは選書会議ができなかったがゆえに今回やったのかという指摘があったため、アンケート調査については今後継続して実施していく予定であることを書いた。

13-1 貸し出し閲覧サービスの利便性の向上について。ICタグ活用機器の新增設について記載した。

-2 適切な表現に改め、職員の増設は、吉祥寺図書館の改修に合わせて移設できる書架等を再活用することで対応を計画中〜と文面を変更した。また、これも吉祥寺図書館改修に文字の変更を行った。

14-1 これも計画に基づいた回数実施について記載した。一般向けトピックスは計画にしたがい3回実施し、リクエストは冊子、HPで公開した。

-2 課題解決テーマ展示は10回ということで、再掲となる。

-3 一般向けトピックス、ミニトピックス。トピックスが3回、ミニトピックスがプレイス7回、中央10回、ブックリストは冊子とHPで公開ということで計画に基づいた回数を実施した。

-4 文芸賞の内容見直しについての追記を行った。子ども文芸賞を本年度よりリニューアルし、子ども図書館文芸賞として再スタートした。応募できる内容について見直し、感想画やポップなどの部門も加え、おすすめ本リストもリニューアルし、より図書館の事業らしく、読書に結びつけられる企画となった。

15-1 課題解決テーマ展示についての再掲となる。

-2 レファレンス事例集について分かりやすく記載するために項を独立して立てた。武蔵野市に関するレファレンス事例集は、回答内で取り上げている現在の状況を再点検しているため、新規の掲載についてはできなかった。

16-1 再掲で、課題解決テーマ展示については年間計画に基づき、10回実施した。

17-2 読書の動機づけ指導の記念事業の実施内容について追記してある。読書の動機づけ指導を継続して実施するとともに、50周年記念事業計画案を作成し、報告を行った。記念誌の作成や、子ども向けの催しなどを企画している。これらは29年度に実施予定で計画したということである。

19 学習障害のある子どもを対象としたマルチメディアダイジェットの貸し出しを開始したことに関して記載を行った。28年度夏現在で所蔵数が278件、貸し出し実績が47件ということで、実績について追記した。

28年度事業評価案については以上となる。

【委員長】

本件について、質疑応答をどうぞ。

(特になし)

【委員長】

これで決定ということにしたい。

それでは議題3「平成29年度図書館事業目標」にうつる。事務局にお願いしたい。

【図書館長】

それでは引き続き、議題3にうつりたいと思う。資料3をお願いしたい。前回委員会で議論してもらったものを反映し、修正を行った。議題2と同様に、修正点を中心に説明を行いたいと思う。

2 既存施設の整備・改修

先ほどのものを受けて修正を行った。「収集方針を点検しましたが見直しにいたるほどの大きな変化はなく、変更は行いませんでした。」を受けての29年度目標として、部門別に具体的な除籍対象をリストアップし、除籍を始める。除籍方針、収集方針見直しの材料として記録を残す。

-4 引き続き図書館資料の収集、整備につとめるため、収集方針を点検し、図書館長に報告しますということで、文章を整えた。

4 利用者の安全性を高める施設の充実

30年度の運営形態の変更後も、利用形態のレベルを落とさないよう、計画した安全対策に関する工事を着実に実施するとともに、予定する指定管理者と緊密に調整を図り、安全の確保につとめる。30年度の指定管理後についても引き続き着実に利用環境のレベルを落とさないようにすること、計画した安全性に対する工事の着実な実施を行うことを記載した。

3 個人情報とプライバシーの保護

-1 情報セキュリティの訓練となっていたものを研修に文言を変更した。

-2 文言修正はないが、再掲を行い、追加した。リニューアル計画にもりこんだ吉祥寺図書館への電子デバイスの導入を着実に実施します。ということで再掲、追加した。

4 実績の部分は先ほどの28年度実績の修正によって、同様に変更を行った。内部研修は年間研修計画に基づき、職員向けを8回、嘱託員向けを5回行った。また、研修情報を共有した。それに対しての29年度目標では、各館が年度当初に作成した年間研修計画に基づき、研修を行う。情報の周知・参加ということで、業務にかかわる研修の周知を行い、参加をする。

-3 内容の精査ということで、「レファレンス記録表についてその内容を精査しながら随時入力し、情報を共有、活用化できるようにする。」と改めた。

9 多様な情報収集の蓄積について。これも、実績の部分を修正した。収受方針を点検した

が、見直しにいたるほどの大きな変化はなく、変更は行わなかった。それに対し、29年度目標だが、以下のとおりとした。

-2 電子書籍について情報収集し、報告の上、情報を共有する。また、関連する講演会等に参加した際にも同様に情報を共有することとした。

-3 国立国会図書館のデジタルコレクションについて言及している。図書館向けデジタルサービスの導入に向け、継続的に検討する。

-4 郷土行政資料収集のため、市内および友好都市等の関係各所と緊密な連携をはかる。郷土行政資料収集のためということで、目的を明確にし、文章の頭にもってきた。

11 他の図書館施設、行政部局との連携・協力

-1 レフェラルサービス提供のため、各関係部署等の情報収集につとめる。ということで、レフェラルサービスのためだということを明確にした。

-2 これも、目的としての郷土行政資料の収集のため、今年度は井の頭公園 100 周年等の発行資料が見込まれるため市内等及び、友好都市との関係各所との連絡を密にとっていく。とした。

12 学校との連携協力

-1 表現をあらためた。引き続き貸し出し図書データを蓄積し、リストに追加し、活用を進める、ということを明確にした。

13 貸し出し閲覧サービスの利便性の向上

-1 再掲になるが、リニューアル計画その後の実施計画にもりこんだ吉祥寺図書館への電子デバイスの導入を着実に実施するということを記入した。

-2 吉祥寺図書館改修に合わせて他に移設できる書架等を再活用するということで、文章を整えた。

14 本に親しめる環境の整備

-2 計画に基づく実施回数を記載し、一般向けトピックス、ミニトピックス展示を年間計画に基づいて実施する。中央で年 5 回以上、プレイスで年 1 回以上。ブックリストは冊子、HP で提供する。

-3 子ども文芸賞についての記載を追加した。リニューアル 2 年目に入るため、反省を踏まえ、子どもたちが興味を持てるようなディスプレイや館内に広報し、より読書や図書館と結びつきの深い事業を目指して実施する。

15 レファレンスサービスの充実

-1 「利用の多い武蔵野市史等の目次入力を進め、利用者の検索に役立つような情報の追

加を行う。」ということで文章を整えた。

-2 新聞の武蔵野版データベースの入力を古いものだけでなく、新しいものも増やし、利用者の利便性を高めるということで表現を改めた。

-3 利用者からのレファレンスに対応するため、季刊むさしのの記事を検索できるような職員用資料を整えるということで季刊むさしのの記事検索について追加を行った。

16 課題解決の支援

-1 他機関と連携・協力し、課題解決テーマ展示等で利用者に情報を提供する。結果は記録に残し、展示リスト等は冊子・HP等で提供し、実施後も利用者が活用できる形でお返しする。この事業は利用者にとっての利便性を高めるとともに職員の能力育成にもつながるため、年間計画を立てて全ての職員が関わられるようにする。連携の側面、研修の側面の両方を記入した。

-3 再掲ですが、レフェラルサービス提供のために、各関係部署との連携、情報収集につとめる。

説明は以上になる。

【委員長】

何か意見・質問等がある方。

【委員】

前回数値目標で28年度の目標に入っているものと入っていないものがあつたが、29年度目標にも数値目標をできれば入れてほしいとお願いをしたつもりだった。しかし、私の意図がうまく伝わっておらず、29年度目標にはほとんど数値目標が消えてしまっている。

なぜ私が数値目標が欲しいと言うかということ、文科省の全国の公共図書館に対する通知において、望ましい管理運営という部分に、図書館は、適切な指標を選定し、これらに関わる目標を設定するとともに、利用年度ごとに事業計画を策定し、公表するよう定めるものとしている。この、「適切な指標を選定し、これに関わる目標を設定する」ということを具体的に言うと、公立図書館は、各々適切な指標を選定するとともに、これらに関わる数値目標を設定し、その達成に向けて計画的にこれを行うよう努めなくてはならないということ。また、公立図書館は、図書館協議会の協力を得つつ、数値目標の達成状況に関し、評価を行うとともに、その結果を住民に公表するよう努めなければならない、ともされている。「できることはできるだけ数値目標にしなさい」ということで、そうしなければ、評価がなかなかできない、また、市民に対してより分かりやすく公表することができないということである。これは全国の公共図書館に通知されているため、図書館基本計画を策定

する際の基本である。そのため、私はできるだけ年度目標には入るものには入れてほしいと思っている。しかし、今回見ていると、数値目標がほとんど抜かれてしまっている。

11 28年度の方には数値が入っていないが、実績としては数値化しやすいものではないかなと思っている。29年度目標に数値目標を入れても良いのではないかな。

14 これも入っていないが、実績には数値が入っているため、数値目標出しやすい項目だと思うため、入れるべきであると考え。

15 28年度には数値目標が入っていたのだが、29年度の方には入っていない。

16 28年度には入っているため、29年度の方にも反映してもらいたい。

17 新しく入った項目だが、これも数値化できないかなと思う。

【事務局】

数値は3館合計でも大丈夫か。

【委員】

どちらでもよい。

【委員長】

他にある方

【委員】

5 29年度の目標に関してだが、「業務に関わる研修情報を周知し」と書いてあるが、周知するというのは職員に周知して、職員が参加しますということか？
また、今までは外部研修と内部研修と書いてあったので、ここにかいてある研修情報というのは外部の研修のことか？

【事務局】

外部研修のことである。外部研修は職員にきちんと周知しないと、なかなか知ることが難しいものもある。

【委員】

では、具体的に書いていただいた方が分かりやすいのではないかな。研修情報を周知し、

参加しますというのは、日本語がおかしい。

参加させますというのではどうか。

【事務局】

研修情報を職員に周知し、参加させます、と訂正する。

【委員】

15-3 利用者からのレファレンスに対応するために「季刊むさしの」の見出しを検索できるような職員用資料を整えますとあるが、私は現在教育史の編纂に関わっているのだが、検索していた際に、「季刊むさしの」の特集記事が検索できるようになっていたのだが、もう始めているということか。

【事務局】

もう始めている。

【委員】

とても良いことであると思う。これがあつたらよいなと思っていたので。

【委員】

図書館のホームページ上からは、まだ検索できないのか。

【事務局】

現在作成しているものについては、入れない。大きな特集記事は今までも入力されていたため、インターネット検索が可能になっている。細かい特集記事は、業務用として作成しているものである。

【委員】

文芸賞の件についてだが、昨年度の反省点というのは周知が足りなかったということだったか？

【事務局】

初めてだったということもあり、作品の数がそれほど多くはなかったため、周知へ対する反省である。

【委員】

今日、学校にチラシを配ったということで、良いことだと思う。ディスプレイで館内コー

ナーを設置し、広報し、図書館事業として～とあるが、館内のコーナーだけではなく、学校にも広報するということはできないのか。

【事務局】

チラシは配布しているので、それをお願いしたいと考えている。

【委員】

チラシを配布し、くらい入れてもいいのではないか。

【事務局】

そのとおりとしたい。ポスターに関しては確認を行う。

【委員】

図書館文芸賞で子どもというのがついているので、図書館内部だけだと数は少なくなりすぎてしまうのではないか。学校では是非出してくださいというしぼりはいらないと思うが、学校にも是非周知して欲しい。

【委員長】

では、予定された議事については以上となる。
決定については委員長一任ということでよいか。よければそのように進める。
引き続き報告事項に移る。事務局お願いする。

【図書館長】

吉祥寺図書館の改修の進捗状況について。
現在は、工事の契約締結中である。予算規模的には3億5千万程度の工事についての入札を実施している。事業者とも事務引き継ぎの関係で、担当者レベルの協議が行われている。今回、確定版ではないが、臨時窓口についてのチラシを配布した。場所については地図を見てもらったとおりである。開館の時間は中央図書館と同じ時間である。取扱業務としては、ネットで予約した本の受け取りが主な業務となる。場所が狭いということもあり、閲覧場所等はない。

【委員】

返却はできないのか。

【事務局】

持ってきたものは受け付ける。

【委員】

返却だけの人は受付していないというのは書いておかないと。

【事務局】

現在の吉祥寺図書館でも返却はできる。臨時窓口は予約本の受け取り優先という形。建物の広さの関係上、臨時窓口に戻却だけの方が来てしまうと厳しい。

【委員】

ではそれも書いておかないと誤解されてしまうのではないか。いつから窓口を行うのかを書いておかないと意味がない。決まったら入れておく。

【委員長】

他に質問等ある方。

では図書館基本計画一部改定について、説明を事務局にお願いしたい。

【図書館長】

進捗としては、計画策定にかかる事業の実施支援事業者をプロポーザルにより選定し、決定した。今月以降基礎調査としてアンケートを実施する。これは来館者アンケートではなく、市民アンケートという形で郵送によるアンケートを行う予定である。これの構成については、現計画を基本的に踏襲するという事で想定している。追加する項目としては、公共施設等の管理計画に伴う類型別施設整備方針等を追加する予定である。今後、計画の進捗状況、評価等を実施していく。

【委員長】

この計画について質問等ある方。

では、最後その他にうつる。

【事務局】

一点お知らせをする。本委員会の任期が今度の9月末で切れる。公募委員に関しては、毎期ごとに変わってもらうことになっている。今ちょうど7月1日号の市報で広報しており、新しい案は今後の委員に見てもらう形となる。まだ応募はないが、7月中頃まで募集を行っており、多少問い合わせもあるという状況である。引き続き募集を行い、教育委員会の方で選定委員会を開き、候補者を決定していきたいと考えている。

次回の日程調整をさせていただきたい。今回、昨年度の評価と、今年度の目標設定を行ったため、今後、委員長に一任という形ということが決まったため、本日出された意見等を事務局の方でまとめ、委員長と相談し、決定していきたい。

報告事項の2番目の図書館基本計画の一部改定に関しては、事務局で案を作り、それまでの評価をしてもらうという形となる。また、アンケートについては、今のところ無作為抽出の市民2,000～3,000名を予定しているが、そのような部分の説明を今後の運営委員会の中で行いたいと考えている。以上を審議してもらうために、次の委員会は9月上旬～中旬頃を予定している。月曜日で考えると、9月の4日か、11日、25日の中で設定したい。

【委員長】

都合の悪い日がある方。

(日程が合わなかったため、メールにて決定する)

【委員長】

全体を通じて質問がある方。

【事務局】

プレイスフェスタについて、内容に関しての紹介をしたい。大きなものとして今年にはプレイスアートプロジェクトにおいて、「リアリー リアリー フリーマーケット」というものを行う。これは、普通のフリーマーケットとは異なり、お金を介さないフリーマーケットである。日時は7月21日の午後3時から。また、これに関連し、体験や、トークショー、展示会も予定している。

また、「あなたが作るコミュニティー」というコミュニティーデザインに関する講演会が行われる予定である。こちらは席に余裕があるため、参加したい場合は連絡をいただきたい。